

単元案の概要

テーマ：留学生に日本の観光地を紹介する
目標 日本を知るために訪問したら良い場所を選定し、その選定理由とともに、場所、観光地の特徴、訪問の時期、かかる時間、費用などを相手に説明でき、また実際に行こうとしている人に旅行準備のアドバイスができる。
対象 科目：スペイン語 / 初、中級程度 / クラス：15人程度
コミュニケーション能力指標 【交通と旅行】 -自分の行きたい場所を、口頭でかまたは書いて伝えることができる。 1-a -観光名所やおすすめのお土産を、尋ねることができる。 1-b -地図をみせながら、目的地までの道順を、尋ねたりすることができる。 2-a -目的地までの所要時間や費用について、尋ねたり教えたりすることができる。 2-b 旅行の簡単な日程表をつかって、相手に知らせることができる。 2-j 【行事】 -行事の名称、月日を言ったり尋ねたりすることができる。 1-a 【地域社会と世界】 -自分の住んでいる町や施設の有無や利用できる曜日と開始時間、終了時間にういて、口頭でやり取りできる。 1-b -自分の住んでいる町や年の、有名な場所や食べ物などを、言うことができる。 1-e -自分たちの住んでいる町や年について紹介する簡単な資料をつくることができる。 【自然環境】 -新聞やテレビなどをみて、天気や季節に関する基本的な情報を聞いたり、読んだりして理解できる。 1-b -季節や天気の好き嫌いとその理由について会話できる。 2-a -日常の天気や季節の特徴について会話できる。 -日常の天気や季節の特徴について会話できる。 -日本や相手国の地域による機構や地理の大まかな違いになどについて、書いたり話したりできる。 2-d -自分の住んでいる地域にある景勝地を、口頭で紹介できる。 -ふるさとや、自分が言ったことのある/行きたいと思っている地域や国の、自然環境や四季の様子について、文章を紹介できる。 4-d

学習シナリオ

スペイン語のクラスでは、スペイン語圏の留学生に向けて、日本の観光地紹介イベントを開催することになった。それぞれがチームをつくり、場所を選定し、なぜおすすめなのか、どんなことができるかを示すとともに、観光訪問プランを示す。紹介イベントには、留学生、ネイティブの先生またその友人たち招いて、発表し、留学生からの質問に答え、最後に行ってみたい地域でランキングをつける。これらのイベントは口頭発表後、必要箇所を修正し、ネットなどで公開し、実際に行った人の感想等を収集し、修正版をつくっていく。さらに、観光地への具体的提案があれば、それを地元の観光推進事務所等へ伝えていく。

イベントでの発表を総括評価の対象とする。

(総括評価指示： 自分の選んだ観光地について、なぜ選んだのか、どんなことが楽しめるか、また実際にいくならいつがよいか、そして、さらに具体的なプランを示してそのメリットを紹介しましょう。)

評価

形成的評価	総括的評価
選んだ都市、地域の場所を表現する。 選んだ都市、地域の天気の特徴を述べる。 その土地の特徴を述べる。 他の地域の発表を聞いて、比較しながら質問をできる。 目的地につくまでの時間、手段、値段等を	自分が調べた内容について発表する。(発表の内容、分かりやすさ等、質問への対応を評価する。) 用意した資料等の見やすさをチェックする。 発表後の内容修正の的確さについて評価する。

「外国語学習のめやす」マスター研修2013 課題発表・目標設定・活動・評価
 作成者：明治学院大学/教授 大森洋子

3×3+3分析

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
テーマ:留学生に日本の観光地を紹介する			
わかる	シナリオ中の該当する箇所 (A-1/A2との対応を記入) ・挨拶/自己紹介の表現 (A-1) ・発表のテーマについて、必要な知識がなにかを理解し、説明、質問する際の表現が理解できる (A-1)	シナリオ中の該当する箇所 (D-1/D-2との対応を記入)) ・留学生、母語話者が行きたいであろう場所について調査、検討できる。(D-1)	シナリオ中の該当する箇所 (G-1/G2との対応を記入) ・クラスで役割分担し、その責任をはたすことで一つの作業ができることを理解する。(G-1) ・多面的な解釈ができる(G-1.2) ・会の進行等で改善点があることを認識する。(G-2)
できる	シナリオ中の該当する箇所 (B-1/B2/B3との対応を記入) ・挨拶、自己紹介ができる (B-1) ・自分の関心ごとについて、説明、質問ができる。(B-1, B-2) ・質問内容容を理解し、的確に答えることができる。(B-2)	シナリオ中の該当する箇所 (E-1/E2/E-3/E-4との対応を記入) ・気づいた点を話し合う。(E-1)	シナリオ中の該当する箇所 (H-1/H-2/H-3との対応を記入) ・役割分担し、お互いが連携し、一つの活動を実施する。(H-1) ・情報機器を効果的に使って、必要な情報を手に入れる。(H-3) ・情報機器を効果的に使って、会を記録する (H-3) ・改善点を列挙し、次に繋がる反省のコメントを作成することができる。
つながる	シナリオ中の該当する箇所 ・初対面の留学生、母語話者と積極的に交流することができる。 ・懇談の場で積極的にやりとりする	シナリオ中の該当する箇所 ・質問を受ける、それに答えることでより個人的なアドバイスを行う。 ・実際に行った人のコメントを通じて、お互いが意見交換する。	シナリオ中の該当する箇所 (I-1/I-2/I-3との対応を記入) ・具体的な場所を紹介することで、地域とのつながり、地域の人々と世界の人々の仲介者となり、より外国人にやさしい町づくりへの貢献が可能となる。
三連携	シナリオ中の該当する箇所	・日本のさまざまな観光地とその訪問の意図の理解 ・スペイン語圏の人々の日本への関心についての理解 (他言語圏の人々の関心との比較して)	
	シナリオ中の該当する箇所	地理、世界史、日本史、政治経済	
	シナリオ中の該当する箇所	・地域に住むスペイン語母語話者となつがる ・観光地の地元住民となつがる。	

「外国語学習のめやす」マスター研修2013 課題発表:目標設定・活動・評価
 作成者:明治学院大学/教授 大森洋子
 ルーブリック評価

テーマ:留学生に日本の観光地を紹介する			氏名: 大森洋子	
評価基準	4 (目標以上)	3 (目標を達成)	2 (目標までもう少し)	1 目標達成まで努力が必要
内容 ×2	必要な内容(場所選定の理由、どんな見所があるか、訪問のタイミングなど)について詳細に報告し、内容も正確	必要な内容(場所選定の理由、どんな見所があるか、訪問のタイミングなど)がおおまかながら説明している。内容も正確	必要な内容(場所選定の理由、どんな見所があるか、訪問のタイミングなど)の最低限の情報は示されている。	必要な内容(場所選定の理由、どんな見所があるか、訪問のタイミングなど)が網羅されているとは言えない。内容に間違いがある。
構成	どんな人におすすめか、場所はどこか、どんな特徴があるか、費用はどのくらいかかるか、滞在にはどのくらいかかるかなどについて上手く話が構成されている。	どんな人におすすめか、場所はどこか、どんな特徴があるか、費用はどのくらいかかるか、滞在にはどのくらいかかるかなどについては表されているが、問題がみうけられるところがある。	話のポイントは押さえているが、その構成要素がはっきりせず、話の流れをつかみにくい。	それぞれの部分が不完全で、その流れが十分でない。
理解しやすさ ×2	文法、語彙、発音に問題があるが、伝えたいことは理解できる。	文法、語彙、発音に問題はあるが、タスクの達成の障害にはなっていない。	文法、語彙、発音に重大な間違いがあるため、理解不能部分がある。	文法、語彙、発音に重大な間違いが多々あり、理解できない部分がたくさんある。
パフォーマンス	理解のために必要な補足資料を用意し、聞き手を意識し、相手の興味を引きつけるような話し方である。	理解の為に必要な補足資料などを用意している。相手に分かってもらおうという努力が伝わってくる。	理解のために必要な資料などの準備不足で、聞き手への配慮がたらず、話し方が単調で、時々文がとぎれることがある。	補足資料もなく、また発話量が少なく、さらに聞き手への配慮がない。伝えようという意志が感じられない。
総合得点	／点満点			
コメント				